

本競技会申し合わせ事項により実施する。下記(3. 競技について)に記載のない事項については2022年度(公財)日本陸上競技連盟規則に則り実施する。

1. 招集について(招集所は管理棟付近に設ける⇒招集完了後に各自で各競技集合場所に集合する)

- 招集完了時刻は、競技開始時刻を基準として、以下の通りとする。

競技種目	招集開始時刻	招集終了時刻
トラック競技	競技開始 30分前	競技開始 20分前
フィールド競技	競技開始 40分前	競技開始 30分前

- リレーのオーダー用紙(競技者係に準備)は招集終了60分前(競技開始80分前)までに競技者係に提出する。

2. アスリートビブス(ナンバーカード)は主催者が用意し、競技者係にて交付する。※安全ピンは各自で用意する。
(配布されたままの大きさで胸と背に四隅をピンでしっかり止める。)

- トラック競技においては腰ナンバーカードを使用する。

3. 競技について

- 同一競技者が2回不正スタートをした場合は失格とするが、競技には参加させ記録は参考とする。
スタート方法はクラウチングが望ましい。
- スターティングブロックの使用は決勝のみ認める。
- 60mHは高さ60cm、スタートから1台目12m、インターバル6mで競技を行う。
- 80mHは高さ70cm、スタートから1台目13m、インターバル7mで競技を行う。
- リレー競技において、チーム編成は申し込んだ6名以内からの4名とする。
同一団体から複数のチームを申し込んだ場合、チーム間で競技者の移動は出来ない。
- リレーのマークテープは各チームで用意する。
- リレーの第1走者は、バトンパス終了後は自分のレーンに留まり、役員の指示によりスタンド側に出てレーンを空ける。第4走者がフィニッシュ後、自チームのマークを外す。
- 走高跳の着地は足の裏とし、腰や背中からの着地は無効試技とする。
- 走高跳の練習は男女とも90cm。競技は95cmから開始し最後の1名になるまで5cmずつバーを上げて競技を行う。
- 走幅跳の試技は3回とする。計測は踏切版から砂場に入った有効試技のみ計測し、それ以外は無効試技とする。
- ジャベリックスロー・ジャベリックボール投げの試技は3回とし、一人が3回連続で試技を行う。
- 60m、100mの決勝進出者は、予選のタイムで上位7名とする。
- 競技の服装はランニングシャツ・パンツまたは学校の体育着を着用する。

4. その他諸注意

- プログラム記載事項の訂正は9:30まで、もしくは競技開始1時間前まで所定の書式で競技者係にて受付ける。
- 参加各団体及び個人の引率者(責任者)は、必ず引率者打合せ【8:50開始】に出席する。
- 第1位～第3位に賞状及びメダルを授与する。
- 賞状とメダルは準備出来次第(アナウンス後)TICで渡す。(表彰式は実施しない)
- 記録証は、希望者に1種目につき200円で発行する。
- 競技順序・競技開始時刻などを変更する場合もあるので、場内アナウンスに注意する。
- 本競技場にはサブトラックが無いので競技場内に練習エリアを設けるので、競技を妨げないように、また事故を起こさないよう注意してウォーミングアップ等を行う。
- テニスコート及び連絡用通路(橋)はウォーミングアップ禁止!! 付近に立ち入り禁止!!
- ハードルは練習時間を設けるのでその時に練習する。ハードルを持ち込んでの練習は禁止する。
- 投てき競技の練習(競技開始30分前から可能)は所定の競技場所で行う。それ以外の場所での練習は禁止する。
- 主催者は、傷害・紛失・その他の事故やトラブルについては、応急処置を除き一切の責任を負わない。
- 参加者は、各自及び引率指導者の責任において参加し、特に競技中に不調を感じた時は直ちに競技を中止するなど健康管理には注意する。なお、競技者が小学生ということもあり主催者側で競技を中止させることもある。
- 競技場の駐車場は役員専用とする。参加者用駐車場は土手を隔てた河川敷内にある。【有料:1日=500円】
- 本競技会の記録は1週間以内に板橋区陸協ホームページに掲載する。 URL <http://itariku.org>

【新型コロナウイルス感染防止対策注意事項】

1. 感染防止対策について

- 『レース時以外のマスク着用』『手指消毒』『できる限りのソーシャルディスタンス確保』『大声を出さない』等の基本的感染防止対策に気を配り自己責任で競技会に参加する。

2. 競技場への入場制限について

- 無観客開催とし、感染防止対策として下記①②に該当する者のみの入場を認める。

【競技場入場許可者】

① 競技会参加選手 ② 入場許可引率者（指導者・父兄・関係者 等すべて含む）

- 個人参加の場合は選手1名につき1名の引率者の入場を認める。
- 2名～3名の団体参加の場合は1名 4名～20名の団体参加の場合は3名まで 21名以上の団体参加の場合は5名までの引率者の入場を認める。
- 団体内で入場許可引率者の人数調整をして入場制限を厳守する。
- 入場許可引率者が(参加選手の弟妹であっても)乳幼児等を伴っての入場を認めない。
- 選手は常にアスリートビブス(ナンバーカード)を装着(所持)し選手であることが確認できるようにする。
- 選手以外の入場許可者には『IDカード』を発行する。 競技終了後に退出する際は必ず返却する。
- IDカードは、必ず首から提げ常に確認しやすいように携帯する。
- 上記の“選手”及び“入場許可者”以外の観客等の競技場への入場は一切認めない。

※上記の規則を守らない事が判明した場合には、その個人及び団体は競技開始以降であっても競技場から退出していただき、以降の競技には参加できない。

3. 『チェックシート』提出について

- 入場者全員(役員・選手・入場許可者)が競技場入場時に TIC(受付/案内)で『チェックシート』を提出する。
- 『チェックシート』は板橋陸協 HP からダウンロードし、必要事項を記入して当日提出する。

※『チェックシート』未提出者は競技場に入場できない。

※同居家族内に体調不良者がいる場合は参加を控える。

※競技会において感染が確認された場合は、参加者全員の「必要事項」を関係機関に報告することを了承する。

4. 競技場入場について

- 選手及び入場許可引率者の入場は土手側の入口のみとする。
テニスコート側入口からの入場は(競技役員を除き)禁止する。
- 受付後は各自(一人ずつ)IDカード及びアスリートビブス(ナンバーカード)を提示して入場する。
- 受付においては“密”にならないように注意し速やかに受付を済ませる。

5. スタンド待機時について

- スタンド待機時は出来るだけ他者との間隔(ソーシャルディスタンス)を取り、大声を発しないように注意する。

6. タープ等設営について

- スタンド以外の選手待機場所として[タープ等]の設営を認める。
- 事前に設営可能な場所を指定する。 【指定場所以外は設営不可】
- タープの周囲を横幕等で囲うことは(密閉防止のため)禁止する。

7. 招集について

- 競技者係においては出来るだけ“密”にならないよう注意する。
- 団体参加の選手は、競技/団体ごとに一括して招集を済ませるように心がける。
- 棄権届も同様に、一括して届け出る。

8. 競技集合場所について

- 種目により集合場所及び待機方法が異なるので担当競技役員の指示に従う。
- 組数の多い種目は招集時刻を分散するので、各自の招集時刻を厳守して集合する。